

適当なリズムで楽しそうにお願いします

一花「JK美少女のお〇んちんを絶頂治療してあげよう！」

一花「さーくるえるぷろ」

す！

ノックの音。

一花「し……失礼します」

ドアの開閉音。入室

セリフの途中で椅子に座るよう促される。

一花「せ、先生……あの……友達にここがいいって紹介されてきたんですが……は、はい、すいません！ 座りますね」

一花「……あの……えっと……あ……その……は、はい。すいませ
ん……その……お……お……」

臆病な子が勇気を出して大きな声でいつきに話すイメー
ジで

一花「……おちんちんが生えてしまったんです！」

恥ずかしがりながら

一花「あ……う……はうう……はうう……」

まずは、見せて？ と言われる。戸惑った様子で

一花「え？ あ……でも……あ……はふ……うう……見せなきや駄
目なんでしょうか？」

促される

一花「は、はい……そうですね……見なきゃ……先生も診察できないですよね……」

意識するとおちんちんが膨らんできたことに気がつく

一花「あ！ 先生！ ちょちよつと待ってください！ もう少しだけ待ってください！ あ！ 今は駄目なんです！」

強引にスカートをめくられて確認させられる

一花「あ！ いや！ 駄目！ 駄目なんです！ あ！ あ！ まつて！ まつて！ ああああ！ ああああ！！ やだやだやだやだ！！ 見ないで！ あ！ あ！ やだ！ やだああああ！！」

大きくなったおちんちんを確認させられて、呆然とした様子

一花「あ……あ……あ……ああ……」

一花「ち、違うんです……あ……あ……」

少し泣きながら。

一花「あ……あ……あああ……ううう……ひいいい……うう……あああ」

涙ぐみながら頑張って必死に説明

一花「違うんです……う、勝手に……何もしてなくても大き

く な つ ち や っ た ん で す …… そ の …… お 、 お ち ん ち ん が …… シ ョ ー ツ の 柔 ら か い 所 に 擦 れ て …… こ こ に 来 る 途 中 で も 擦 れ て ……」

一花「い、一度大きくなっちゃうと、それで又擦れて……またそれで……」

一氣にまくし立てるように

一花「ど、どンドン！ どンドン勝手におつきくなっちゃったんです！ その！ 本当に！ エッチな事とか何も考えてないのに！ す！ その！ おつきくなっちゃったんです！」

勝手に大きくなって突然の射精。

[illegible]

射精音。パニックになりながら

一花「止まつて！　止まつて！　やああああ！　やあああああ！！！」

！！　止まつてええええええ！　だめええええ！！　やあああ

あああ！！！」

絶頂後の快感。

一花「はあああああ！ はあああああ！ あ！ あ！ はあああああ！ はあああああ！ は！ は！」

その後、冷静に戻る。落ち込みながら。

一花「あ…… あ…… すいません！ すいません！ ああああ
あ！ 先生、汚しちゃった！ 汚しちゃった！ ごめんなさい！
ごめんなさい！ あああああ！ すいません！ すいませ
ん！ すいません！」

諭される

一花「は…… はい。 すいません…… お、落ち着きます…… あ……
よくあることなんですか…… でも…… はい。深呼吸ですね……
…… すーはー…… すーはー…… すー あ、よくあることなんで
すか？」

一花「は、はい…… もう一度…… 見るんですね…… いえ、自分でし
ます！ …… 自分でスカートを捲まくります」

スカートをまくり上げる。先生にショーツからはみ出て
いるおちんちんを見られている状態。恥ずかしがりなが
ら少し興奮状態

一花「は…… は…… 先生…… ど、どうですか…… こ、これでい
いでしょうか…… あ、はい…… その…… クリトリスがおちん
ちんになっちゃうって病気なんですね…… あ…… ん…… は！」

快感に耐えている状態

一花「す、すみません…… 空気に触れているだけで…… なんか……
は！ おちんちんが…… ん！ ふ！ は！ は！」

快感に耐えながら頑張って発言

一花「はあ……はあ……あう……はう……ど、どうすれば治るんでしょうか？」

一花「射精？ え？ えええ？」

一花「ぜ、絶頂って！ い、いくって事ですよね？ 今みたいに！？」

説明を受ける。おちんちんのこととはちよつと忘れている状態。

一花「え……え！？ はい。はい。薬による治療か……そ、その、い、いって自然治療するかって事ですよね……どっちがいいんでしょうか？」

一花「はい……はい……。つまり、お薬は副作用が出る可能性があるんですね……自然治療を受けてからでもお薬による治療に……はい……」

射精しては消え去るような声で

一花「では、自然治療で……射、射精して治す方法で……お願いします」

ノックの音

一花「し、失礼します」

扉の改変音。

歩いて椅子に座る。

一花「は、ない。あれから特に変わった事はないです」

一花「は、はい！ もちろんです！　じ、自分ではしていません」

たくし上げて

一花「え？　で、でも……う、そ、そうですね……」

一花「じ、自分で見せなきゃいけませんよね……う」

一花「う……うゝ。す、スカートを……めくります」

一花「ううう……ちよつと待ってください本当に恥ずかしくて……」

スカートを自分でゆつくりと捲る。

一花「う……ううー。う。は、恥ずかしいです……これでいいですか？　あ……はい、もっと持ち上げます……うー！」

一花「こ、これでみえてますでしょうか！」

パンツに手をかける

一花「え、やあきやあ！」

頬を叩く音

一花「あ、そうですね……直に見なきや……す、すいません。はた
いちやいました」

一花「本当にすいません！ 本当にすいません！」

諭される

一花「はい……すーは……すーは……お、願います」

一花「うー！ はあ……あ……ん！ すいません！ 変な声がでち
やつて！」

一花「人にショーツ下ろされた事なんて無いので……ん！ はあ……
……はあ……恥ずかしくて目を開けていられませんか……」

一花「ん、ん、ふう」

一花「うう、先生ー、どうでしょうかー な、何か言ってください
よう、ひやう！」

一花「せ、先生！？ え、さ、触っちゃうんですか？」

一花「そ、そうですね。触らないとわからないことがあるんですね。
ひ、ひいいい！」

一花「あ、あ、あ！ 先っぽ！ そ、そんなに強く指先で！ ああ！
あ！ は！」

一花「う、う：は、はい。こ、ここ鬼頭っていうんですか、はああ！
す、すいません！ 指先でぎゅぎゅってこねられるとああ！
はあああ！ んっく！ んぐ！」

一花「し、刺激が強すぎて、あ、あ！ ん！ ふう！ はあ！」

先生 本当に自分でしてない？

一花「え？ ほ、本当です！ 自分で触ったりなんかしていません
はあああ！ はあ！ はあ！ さわさわって触られると！ そ
こ！ とつても敏感にあ！ あ！」

先生【本当に本当？】

一花「う、うう：本当です：ん、ん！ 自分では触ってないんです！
で、でも：」

一花「しょ、ショーツが擦れて：おつきくなっちゃって：そのまま
かってに」

先生【全部話して】

一花「ひいいい！ ま、また！ 先っぽ！ き、鬼頭ぐりぐりって
ええ！ あ、あ、あ！ ひぐ！」

一花「え？ あの：」

先生 本当のこと言わないと治療できない

最後は消え去りそうな声で

一花「は、はい、すいません、その、いつちやったあともう一度自分
分で触っちゃいました」

一花「ひいいいい！？ あ！ あ！ あ！ せ、先生！ 先生！
お、おちんちんがあああああ！」

先生【こんなふうに】

一花「こ、こんなに激しく触っていませんああああ！ こ、声出
ちやうよう！ ん！ ん！ んんんん！」

先生【みんなそうだから安心して】

一花「み、みんなそうなんですネ？ あ！ あ！ こ、こんなこと！
みんなして！ あ！ あ！ 先生の手がおちんちん全体ぎゅ
っと握って！ はあああああ！ 前後にいいい！ みいい！
前後にいい！ あ！ あ！ あ！ あ！」

先生によく見てと言われます

一花「あ！ あ！ あ！ おちんちんが！ おちんちんが凄いこと
になってますう！ はああああ！ はああああ！ 先っぽが
まっかになってえええ！！！」

一花「おちんちんの皮からあ！ あ！ あ！ 鬼頭がにゅこって見

えたり！ 隠れたり！ あ！ あ！ あ！ あ！ あ！ こ、
こんなあ！ こんな事するんですねあああ！」

一花「はああ、あああ、はあ、ああ！ はああ、あああ、ああ！」

一花「せんせっ！ これ！ また！ うぐう！ ひぎ！ いいい！
だめ！ だめ！ だめでうううう！ あ！ あ！ あ！」

一花「またああ！ 先生にかかつちやいます！ あ！ あ！ あ！」

早くしごかれる。

一花「きやああ！ ん！ くはあああ！ 思いつきり握られながら
あああ！ あ！ あ！ ああああ！ そんなに早く擦らないで
えええ！ きやあああああ！」

射精。

射精のたいみんぐで、どく！ どくっ！と 合わす感じ
の あ！ あ！ お願いします。

一花「あ！ あ！ あ！ あ！ あ！ あああ…」

一花「はあ…はあ…」

一花「で、出ちやいましたふええすいませーん。また先生に…きや
っ！」

一花「あはあああ！ あはあああああ！ せ、先生！ 今動か
しちやだめ！ 今動かしちやあああああ！」

一花「も、もう一回？ もう一回なんて無理です！ 無理です！
あ！ あ！ あ！ あ！ は！ は！」

一花「こ、この前はその、勝手にショーツで擦れていっちゃってまだ収まってくれなくてだから、はああ！ くあ！…あああああ！
あああああ！」

一花「もう、すつごくいっちゃいましたから！ いっちゃいましたから！ あ！ あ！ あ！ 無理です！ 無理ですああああ！」

一花「先生！ あ！ うぐう！ 本当にい！ ダメなんです！！！
ん！ ん！ んぐう！ 辛いんです！ おちんちんが！ い
ったばかりでああああ！」

一花「あああ！ そんな無理やりいいい！ ま、またああ！ ひぎ
い！ いぐう！ あがあああああ！」

一花「おちんちん大きくなりすぎていいい！ あああ！ あああ！」

一花「おちんちん壊されちゃうあああ！ うぐ！ う！ ひひい！
い、い、いい！ いぐう！ あ！ あ！ きやああああ！
あああああああ！」

射精。

射精のたいみんぐに合わす感じで あ！ でお願いします。

一花「あ！ あ！ あ！ あ！ ……ふ ふぐ… ふ、ふう
……」

一花「は、はあ…はあ…」

一花「う、ひぐひぐ…怖かったですよう…死んじやうかと思っちゃいましたよう」

慰めの言葉をかけられる

一花「う、うう…は、はい…ありがとうございます」

除菌ティッシュでふきふき

一花「あ、じ、自分でできますよう。お、おちんちんの先っぽティッシュでお掃除されるなんて…は……あん、んん…は、はい。先っぽ、冷んやりして気持ちいいです」

一花「は、はい…先生。今回もありがとうございました。次も一週間後ですね」

■治療三週目 先生！ このピンク色のぷにぷにした物つて？

ノックの音

一花「失礼します」

扉の改変音

一花「先生、今日もよろしくお願いいたします」

最後は消え去りそうな声で

一花「は、はい！ 今度は言われたように……自分ではしてないです」

一花「そ、それで……今日も……この前と同じようなことをするんですよね？」

物を取り出す音

一花「え？ 何ですか？ ピンク色をして……あ、はい。触っていいんですね」

一花「わー、ぷにぷにしています。ぷにぷにー。ぷにぷにー。えへへ、何だか可愛らしいですね」

一花「あ、ここ穴が空いているんですね。へー。はい、指を突っ込んでみます」

一花「なかも、ぷにぷにしていますー。えへへ。癒しグッズか何かですか？ え、オナホール」

脱ぐように促される

一花「あ、はい。治療を開始するんですね。まずはスカートを…」

脱ぐ音

一花「う、うう。や、やっぱり、すっごくはずかしいです」

一花「い、いえ！ 自分でできます！ 次はショーツを…」

脱ぐ音

一花「う、うー！ ぬ、脱ぎました！」

消え去りそうな声で

一花「そ、そんな、まじまじおちんちん見られると…」

一花「ど、どうでしょうか？ 少しは良くなっているんでしょうか？」

一花「はい、ベッドで横になりますね」

ローションを取り出し水でとく

一花「それは？ ローション？ あ、治療に使うんですね」

一花「あ、はい触ってみます。わ、わ、ぬるぬるしてますよぬるぬ

る」

一花「え、オナホールの中にそのぬるぬるを入れちゃうんですか」

一花「え？ え？ ええええ？ そ、そこにわたしのおちんちんいれちゃうんですか！？」

生唾を飲む音をおねがいます。

一花「んく。で、でも今日はその、おつきくなってないから、はいらひゃん！」

一花「はあああああ！ 先生の手でええ！ おちんちんがぬるぬるでぬるぬるで！ はああああ！ はあああああ！」

一花「あ！ あ！ ああああ！ は！ は！ お、おつきくなっちゃいまし、んくう！ うそ！ こんなに簡単に！ うそ！」

一花「ん！ 冷たい！ お、オナホールがおちんちんの先っぽに！」

ゆつくりと先端だけ挿入

一花「くはあ！ ああ！ さ、さきっぽがああ！ オナホールのプニプニにイイああああ！ ぷにぷにいい！ ああああ！」

一花「ぬるぬるがあ！ あ！ あ！ あ！ ん！ くはああ！」

一花「あ！ あ！ あ！ 先生！ 先生いい！ ぎゅぎゅって先っぽ締められるとああ！ はああ！ はああ！ はあああ！」

一花「やあああ！　回さないでええ！　ああああ！　うぐぐうう！
くううう！　ぬるぬるで優しく擦られてるのに　はあああ！
なにこれえ！　はあああ！　おちんちんがああ！　おちんちん
がああ！」

一花「は！　は！　は！　お、おちんちんがああ！　は！　は！
信じられないぐらいおつきううう！　は、は、はあああ」

一気に奥まで

一花「も、もう終わりですか？　ひいい！」

一花「はあああ！　おちんちんがあああ！　はああああ！

一花「オナホールに食べられちゃいましたああ！　ああ！　はああ！
ふわあああ！」

ゆつくりと上下に動かす

一花「あ！　あ！　あ！　あ！　ぷちゅぷちゅって！　はああああ！
ぷちゅぷちゅって！　はあああ！　エツチな音おお　あ！
あ！　あ！」

一花「は！　は！　はああ！　え？　先生！？」

途中から激しく

一花「はあああ！　どうして上を捲り上げるんですか！？　きやあ
ああああ！」

一花「やあああ！ おっぱ！ おっぱいいい！ 男の人に見られたことないのにはあああ！ はあああ！ 先生！？ オナホール動かすのやめてええ」

一花「きやああ！ 乳首！ キスしてるう！！ あ！ あ！ あ！ はあああ！ はあああ！」

一花「おっぱいすわれながらああ！ オナホールでええ！ あ！ あ！ あ！ いやああああ！」

一花「やああああ！ も、揉まないで！ はああ！ はあああ！ おっぱいー 私のおっぱいがあ！ はあああ！ ん！ んん！」

一花「おっぱいそんな！ 強く吸っちゃああ！ はあああ！ はあああ！ は！ は！ は！」

一花「も、もうおちんちんが！ おちんちんが！ はああああ！ はああああ！ ああああ！ あああああ！」

射精

一花「ああああ！ きやあああああ！」

クールダウン

一花「は、は、は！」

途中でキス

一花「先生：どうして：んんぐう！ んんん！？ キス！？」

途中でオナホールを動かせる

一花「いやああああ！　先生！　だめ！　私キスもまだ！　んんぐう！　本当にやめて、きやああああ！」

一花「先生！　先生！　オナホールほんとうにだめえ！　きやああ！　ん！　ん！　ちうちゅれえ！　んぐ！　ちうついちゅ！」

一花「やああああ！　オナホールの中私のせーえきできたな、んぐちうちゅれつれえちう！」

一花「んちうちう！　ぬるぬるがあああ！　私のせーえきでもつとぬるぬるにれええちうちうじゆる！」

一花「いったばかりなのに！　いったばかりなのにいい！　やああああ！　はあああああ！　れつつちうじゆるちう！　れええちうじる！　ん！　ん！」

一花「くはああああ！　いったばかりでおちんちがああああ！　くはあああ！　ん！　ん！　うぐう！」

一花「ん！　ん！　んぐう！　ちうじゆる！　キスされながらあ！　は！　は！　おっぱいあああ！　あ！　あ！　おちんちんも！　あ！　あ！　あああ！　ひぐう！」

一花「やああああ！　解んない！　もう解んない！　れええちうちうじるちう！　ん！　ん！　ん！　うああああ！　は！　は！　は！　きやあああああ！」

一花「う、う！ ま、まだ！ いぐううう！」

絶頂

一花「あ！ あ！ あ！ あ！ あ！ はああああ！ きやあああ
あああ！ あ！ あ！ あ！」

クールダウン

一花「は、は、は、は、は…」

泣きそうになる

一花「は、は、は、う、う、うう」

一花「ふ、ふえええ。ふええええ」

一花「ぐす…：うう。はい…：びっくりしちやつて…：もう大丈夫
です」

一花「はい…：また一週間後ですね」

ノツクの音

一花「失礼します」

扉の改変音

一花「せ、先生、今日もよろしくお願いいたします」

一花「はい……ちゃんと言われたように一週間、射精していません」

一花「そ、それで今日はどういう……」

一花「ベッドの上ですね……はい」

一花「え？ え？ よつんばにですか！？」

一花「は、はい……」

一花「先生……後ろに回って……顔が見えなくてちよつと怖いです」

脱がす音

一花「え？ 先生？ スカート！」

一花「は、はい、我慢します」

一花「う、ううう……先生にショーツ丸出しで……こんなかっこう」

一花「あ！ ショーツも！？？ だ、だめえ！」

一花「や、やだ！ みんな見られちゃう！ ああああ！」

先生【勃起している】

一花「だって！ だって！ 一週間も我慢していて、ひゃん！ 息
吹きかけないでえ！」

一花「は、は……あ、またオナホール……使うんですね」

オナホール挿入

一花「え？ この格好のまま？ ひい！」

一花「あ！ あ！ あ！ 先っぽ入れられるだけで！ はああああ！
はああああ！」

一花「ずっと一週間我慢してたのであああ！ あ！ あ！ はあ！
はあ！ あ！ んぐ！」

一花「ちよつと、動かされるだけでああ！ はああ！ はあああ！
きやう！？」

一気にオナホール挿入

一花「先生！ 先生！？ お尻舐められてるうういやああ！ きや
あああ！」

一花「おちんちんがあああ！ おちんちんがあああ！ ぬる！ ぬ

るで！ ひう！ いい！ あ！ あ！ あ！ あ！

一花「ん！ ん！ ん！ ん！ お尻ねぶっちゃいやああ！ あ！
あ！ あ！」

一花「ああああ！ そこアヌス汚い！ ひいいい！ 舌が奥までえ
ええ！ お尻舐めちゃいやああ！」

オナホール激しく動かす

一花「が！ が！ ぐひいいい！ ひいいい！ 激し！ いいい
いい！」

一花「は！ は！ こんなのおお！ 駄目ええ！ 牛さんみたいに
絞られて！」

女性器にキス

一花「ひやう！？」

一花「そこ先生！？ おまんこ！ キス！？ いやあああ！」

一花「はぐう！ いいいいい！ そんな！ こんなことつて！ あ
ああああ！ 絶対しちやいけないのにいいい！ あああ」

一花「お、おまんこなめられながら、おちんちん！ はああああ！
はああああ！」

一花「ん！ ん！ い、い、いっっちゃう！ ひぎい！？」

一花「根元ぎゅってされてえ！　せーし出せないです！　ああああ！
おまんこ！　そんな中までひいいい！」

一花「いやあああ！　先生！　先生！　おちんちんの根本ぎゅつと
するの離してえええ！　離してえ！　ああああ！　あ！　あ！
はあああ！」

一花「きやあああ！　お尻にまたキスう！？　はあああああ！　あ！
あ！　あ！　あ！　あ！」

一花「おちんちん本当に苦しいんです！　あ！　あ！　あ！　ああ！」

一花「いきたいです！　いぎだいいです！　ひぎ！　いかせてええ
え！」

根元を離されて激しく動かされる

一花「あああああ！　きやああああ！　出ちやう！　出ちやううう！
あ！　あ！　あ！　あ！　ああ！」

射精

一花「う！？　ぐ！　くは！　あ！　あ！　あ！　あ！　あ！　あ！　は
ああああああ！」

クールダウン

一花「は、は、は、は……はあ」

鳴き声

一花「は、は、う、ひん、ひぐ……頭がどうにかなっちゃって死ん
じょうかと思いました」

一花「は、は……はひ、治療は順調なんですね……」

ノックの音

一花「し失礼します」

扉の改変音

一花「先生、今日もよろしくお願いいたします」

一花「そ、それで今日の治療は……」

一花「は、はい。すいません。準備に時間がかかるんですね」

時計の音

一花「うう……」

一花「先生まだかな……」

時計の音

一花「ふ……ん」

一花「はふ……」

一花「先生まだかな」

時計の音

一花「せ、先生！　ま、まだでしょうか？　先生！？」

扉が開く音

一花「あ、大声出してすみません……でも、もうもう」

一花「あうう、そうですね！　一週間我慢してたんですよ！」

ローションの音。生唾を飲む音

一花「ごく。んつく」

声を震わせながら

一花「きよ、今日もそれ使うんですね……はは」

一花「ごめんなさい。ちよつと震えが……はあ……はあ」

一花「あ、自分で脱ぎます！　スカートを」

衣服を脱ぐ音

一花「しよ、ショーツを」

衣服を脱ぐ音

一花「は……は……そ、そんなにみないでくださいよう」

一花「あああ……見られているだけでおつきく……恥ずかしいよう」

一花「は、はい、ベッドに座ります。え、これ、オナホール、私が持つんですか？」

一花「え？ え？ 今日は自分でするんですか！？」

先生【好きに動かしていい】

一花「は、はい……えーと、オナホールにローションを……んしょ……うまくはいらないんですねんしょ」

一花「そ、それでは……あれ、はいらない」

一花「あ、おちんちんを左手で固定するんですね……んんん！」

一花「くふ！ 先っぽが入った！ はあああ！ はああああ！」

一花「あ、はい、ゆつくりと動かして……はああああ！ はあああああ！」

一花「あ！ あ！ 回転させるんですか！ あああ！ 先っぽが！ あ！ あ！ あ！」

一花「ああああ！ 一週間がまんしてたんですよああああ！ 気持ちいい！ あ！ あ！」

一花「え？ もうちよつと！ もうちよつと先っぽだけで！ あ！ あ！ あ！ ああ！」

頬にキス

一花「あは！　せんせ！　キス嬉しー　は！」　は！　は！　もつ
とこつちに顔を寄せてください」

耳舐め

一花「れええちう。先生のお耳……ちうちう。んんう！　はああ。
あ。れえちうじうるゆちう！　は！　は！　はああ！」

一花「れええちうじう。ん！　ん！　はふう。おちんちんオナホー
ルでいじりながら先生の耳舐めるなんてれええちう」

一花「えうれう。ん！　れえええちうじうちうちう」

一花「はふはふ！　んぐ！　でもおちんちん気持ちよくてうまく舐
められなれええちうじうるちうちう！」

耳元で

一花「は！　は！　は！　は！　エツチな声！　先生の耳元できか
れちゃってます！　は！　は！　は！　はああああ！」

一花「れええちうじうちう！　ん！　ん！　ん！　ん！　ちうちう」

一花「はふ！　れえちうじうる！　くふ！　ちゅちゅちうれえ」

一花「れええちうじうるちゅ！　ちうちう！　は！　は！　は！」

一花「は、反対側もむいてください、ありがとうございます！　。
れえちゅるちうちゅ！」

一花「は！ は！ は！ は！ はあああ！ せんせ！ 先生！、
れえええちうじる！ ちゅちゅ！ はあああ！」

一花「あうう！ おちんちん気持ちいいですよ！ れえちうじる！
治療しているだけのいい！ れええちう！ いけない事し
ている気がしますううう！ あ！ は！ は！ は！」

一花「れえええ！ あむう！ くちゅくちゅの音がもうどっちかわ
からないですう！ れえちうじるちゅう！」

一花「ん！ ん！ ん！ はんん！ ああああ！ れえええち
う」

キス

一花「んぐう！ れえちうついじつ！ ちゆるちゆる ん！ ん！」

一花「はあああ！ はあああ！ あぐう！ オナホール一気に奥ま
で入って！ んぐ！ れええちうじる！」

一花「あ！ あ！ ああ！ はあああ！ はあああ！ れえちじる！
手が！ 手が止まらないよう！ 止まらないいい！ れええ
ちうじる！ はああ！ はああああ！」

一花「れうちうちうじる！ は！ は！ は！ は！ ちうじる！
あ！ ん！ んん！ んん！ ちうじるちゅちゅ」

一花「え？ あ！ おっぱいい！ ひうん！ おっぱいにまたキス！
あ！ あ！ あ！ はあああ！」

一花「先生におっぱい吸われながら！ あ！ あ！ あ！ 自分で
するなんてええ！ あ！ あ！ あ！ はあああ！」

一花「ひ！ 乳首甘噛み！ んつく！ あああ！ あ！ あ！ あ！」

一花「やああああ！ 手が！ 手が勝手に動いちやう！ あ！ あ！
はあああ！ はあああ！ んんん！」

一花「はあああ！ はあああ！ こんなああ！ 駄目え！ 駄目
え！ こんなのは！ あ！ あ！ ああ！」

一花「馬鹿になりそうで怖い！ あ！ あ！ あ！ はああ
あ！」

一花「う！ う！ う！ もう先生！ せんせえ！ いてもいい
ですか！？ いてもいいですか！？」

一花「ひう！ れっちうちつつじる！ ちうちゅちうちう！ んん
ん！ い、いく！」

射精

一花「あ！ あ！ あ！ あああああ！」

クールだるん

一花「は、は、は……は」

キス

一花「あああ……あふう……ちうじるちゆうちゆちゆ」

一花「は、は、は……い、意識が……一瞬とんじやいました」

一花「はふう」

ノツクの音

一花「失礼します」

扉の改変音

一花「先生！」

抱きついてキス

一花「ちうちゅちゅちう、ちうちうれええじる！ちゅちゅちゅん！ん！」

一花「一週間も！一週間も我慢していたんです！れええちうじるちゅ！ん！ん！」

一花「あはああ！お尻！お尻揉んでくれるですね！れえちうじるちゅちゅ！」

一花「唾液もつと吸わせてください！れえちうちうじうりゅちゅん！ん！ん！」

甘えた声で

一花「ちうちうじるちゅ！は！は！は！んん！せーんせえー」

一花「は、早く治療をしてくださいよう」

一花「は、はい落ち着きます！ すーはー すーはー すーはー」

一花「え？ 先生のおちんちん？ は、はい」

一花「わ、私が脱がすんですね……ず、ずぼんのベルトをとって……」

一花「このまま下に……ふわ……ああ、男の人のパンツ見たの初めてです……あ、あ、おっきくなってるの解ります」

一花「ぱ、ぱんつも脱がしますね……よいしょ、ひ！」

一花「こ、これが本当のおちんちん…… に、にてるけどごっこつしているんですね……」

一花「さ、触ります……えい！」

一花「あはあああ……熱いです……こんなに厚くなるんですねわあああ」

一花「やっぱり先生も触られると気持ちいいんですか？」

一花「えへへそうなんです……」

一花「は……見ていると……なんだか、あう……はあああ、ちゅ」

一花「あ！ ごめんなさい！ ごめんなさい！ 勝手にキスしちゃって！」

先生【いいよ好きにして】

一花「は、はい。わー。先っぽ柔らかくて……下のほうは硬くて……
……はあああ、こ、これが男の人の匂い……」

軽いフェラの演技でお願いします

一花「……ちゅ」

一花「ちゅちゅちゅちゅ……ちゅちゅ！ あ、びくって」

一花「えへへ、先生も気持ちいいんですね。私もおちんちん生えちやってますからわかります」

一花「ちゅ……ちゅ、ちゅちゅちゅ、ちゅちゅ」

先生【もつと深く舐めて】

深いフェラの演技でお願いします

一花「はい……もつと深く、れえええちゅじゅるちゅ！ ちゅちゅ！」

一花「んぐ！ ちゅじゅる！ あむあむちゅじゅる！ ん！ ん！」

一花「お口の中、先生のおちんちんでいっぱい！ んんん！ れえじゅちゅちゅる！」

一花「れええちゅちゅ！ んんん！ おっぱ！ おっぱい揉まれると！ んにゅう！ れええちゅじゅる！」

一花「はああ！　乳首こりこり指先で弾かないで！　はああああ！
はああああ！　もう！　おちんちん舐められないですよ」

一花「れえええちうじうりゅちゅ！　ちうちうちゅ！」

一花「んぐ！　んつく！　れえええちう！　先生のおちんちんがぶ
わっておつきく！　んぐ！　じゅぱれえちうじつちう！」

一花「あ、わかります！　れええちう。このくびれがいいんれふね？
ちうちうじるちゅつつ」

一花「先生の匂いで……れええちう。頭がぼうつとしてきちやいま
してれえちうじるれえ。ちゅちゅ」

一花「こうれふか？　ちうちう。れえええ。喉の奥できゅってしめ
まふ。んつぐ！　んつぐ！　じるちゅう！」

一花「思いっきり吸います！　ちうちうれええじるちゅるちううち
ゅうちうれえじる！　はふう！」

射精

一花「んんんん！？　んつく　んつく　こく　んく　けふ！」

一花「は、は、は……れえちうじる……こ、こんな味なんですねれ
ええちうじうちゅる」

一花「先生も気持ちよかったんですね？　はあ……私もこの気持ち
ちよさ知っているんだもん……へへ」

一花「あ、あの……」

一花「そろそろ私にも……」

■治療七週目 先生！ おちんちんしごかれながらえっち
ですか？

ノツクの音

扉の改変音

抱きついてキス

一花「先生！ 先生！ れええええちじうりゅちゅちゅ！ 好き！
好きいい！ れえちうじる！」

一花「抱きついただけで私のおちんちんがえ！ 先生のお腹に当た
ってええ！ それだけでえ！ はああああ！」

一花「一週間待ってたんですよ！ ちうちゅちゅちう、ちうちう
れええじる！ は！ は！ 早く治療！ 治療してください！」

一花「ふ、服を脱いでもいいですか？ はい！」

服を脱ぐ音

一花「お、お、お願いします。勢いで全部脱いじゃいました……
は、はやく治療して欲しいのおお！」

一花「べつどですね？ はい！……こう上向きに？ ひい！」

一花「あ！ いきなりおちんちん触っていただけるんですね！ は
あああ！ 気持ちいいです！ はあああん！」

一花「指先で先端くりくり素敵！　ひん！　ひん！　ひう！」

一花「え？　どうしちゃったんですか？」

一花「終わっちゃったんですか？」

おちんちにキスされる！

一花「ひやつ！　あ！　せんせー！　おちんちん舐めていただける
んですか！？」

一花「あはあああ！　素敵！　あ！　あ！　あ！」

一花「先っぽそんな風に吸うんですねああああ！　あああああ！
勉強になりますう！」

一花「ひぐう！　先っぽ吸いながら舌で敏感なところ嘗め回されて
ますうううう！」

一花「す、すつごく、勉強になります！　ひ！　ひ！　ひ！　ひ！
あああ！　あああ！」

一気に奥まで

一花「くはあああ！　先生の口の中におちんちんがあああ！　全部
入っちゃいましたあ！　はあああ！」

一花「あ！　あ！　あ！　あ！　凄い！　凄いいいいい！　自分で
した時と全然違います！　はあああああ！」

一花「はあ！ はああ！ おちんちん先生に食べられちゃってます
うう！！ ああん！ はあん！ あ！ あ！ あ！」

一花「ん！ ん！ ん！ ん！ い、い、いく！」

射精

一花「くはあ！ あ！ あ！ あ！ あ！」

一花「せ、先生！ すいませんすいません！ 我慢できませんでし
た」

連続で舐められる

一花「ひや！ ああああ！ いま、まだいったばかりであ！ あ！
あ！ あ！」

一花「私のせーえきせんせーにのまれでるううう！？ あああ！
すごい！」

一花「いえ！ やめないでください！ 気持ちいいですよ！ あ！
あ！」

一花「ま、またあ！ 大きくなっちゃいましたあ！ あ！ あ！
あ！ はああああ！」

一花「あああ！ お尻揉まれてますうう！ そのままおちんちん舐
められるの気持ち良すぎますううう！ んぐ！ は！ は！
は！」

一度だけ強くおちんちんが吸われる

一花「くは！」

一花「は！ は！ は！ はああああ」

一花「こ、これで終わりじゃないですよね？」

一花「つ、次はいつたい……あ、先生のおちんちんもすご」

一花「え？ 入れちゃうんですか？」

一花「私のおまんこに？」

一花「治療と……関係あるんですよ！ いえ！ お願いします！
お願いしますよう！ 先生の！ 先生の！ おちんちんいれ
てくださいいいい！」

一花「あ、あ……はふ、おちんちんが……先生のおちんちんが……
私のおまんこに」

挿入

一花「ひぎいいいいい！」

一花「んああああ！ 一気に奥まで！ くはあああああ！」

ピストン

一花「きやあああ！ いきなり動かないでええ！ 私のおまんこが

ああ！ ひぐう！」

一花「あう！ わだしのおちんちん！　ぎゅって握られてる！　はああああ！」

一花「あ！　あ！　あ！　あ！　おちんちん入れられながらおちんちん擦られてるよううう！　くはああ！　ああ！　あああ！」

一花「あううう！　あううう！　おちんちんしこしこされながらああ！　先生のおちんちん奥までええ！　はああああ！」

一花「うそ！　うそ！　い、痛くないです！　もう痛くないんです！　気持ちいいんですよ！　はあああ！　はあああ！　どうなっちやうの私！」

一花「あ！　あ！　あ！　あ！　あ！　は！　は！　は！　は！　は！　は！」

一花「ひいひい！　お尻、今触っちゃあああ！　はああああ！　はああああ！」

一花「んぐう！　くう！　きやい！　は！　は！　は！　は！　は！　は！」

一花「くは！　目がちかちかして！　あ！　あ！　あ！　あ！　あ！　はあああ！」

一花「き、き、気持ちいい！　はああん！　ああ！　はあああ！　あ！　あ！　あ！　あは！」

一花「きやう！　おちんちんのさきつぽくりくりい！　あ！　あ！　あ！」

あ！ あ！」

おは濁点のおのイメージです

一花「あぐう！ 今度は根元からおもいつきりしこしこお！ お、お、お、お、お、お！」

一花「あ！ あ！ あ！ あ！ 両手でしこしこされてえええ！ はあああ！ はあああ！」

一花「おまんこの中！ せんせーのおちんちんこすられてぎもぢい
いい！ あ！ あ！ あ！ あ！ あ！ あ！」

一花「ん！ ん！ ん！ おく！ おぐうう！ おまんこのおくう！
ぐりぐりつてされて！ ぎもぢいよう！ あはあ！ は！
は！ はあああ！」

一花「あはああ！ はあああ！ こんなはしたないところ！ あ！
あ！ 見られてるよう！ でも、ぎもぢいよう！ は！
は！ は！ は！」

一花「え？」

一花「あ、あう！ 今、いったら……治療が完了しておちんちんが
なくなってしまうんですか！？」

一花「……いや！ いやああ！ いきたくない！ いぎだくないい
い！！！！ いぎい！ あ！ あ！ あ！ あ！ あ！ あ！」

一花「やだやだああ！ もつと！ もつとしたいいい！ もつとお

ちんちんしたい！ あ！ あ！ あああ！ んぎいい！」

一花「もっどもっどおちんちんでえ気持ちよくなりだい！ あ！
あ！ だめ！ いぎい！ だめええ！ nぎい！」

【あ】や【お】は濁点のイメージです

一花「駄目です先生やめて！ 止めてええ！ あああああああ！
止まらない！ どめらないいい！ お！ お！ お！ お！
お！」

一花「い、い、い、い！ いぐ！ いぐう！ ああああ！ いっ
いっ！ いっ！ いっじやううううう！」

射精

一花「きゃあああああ！ あ！ あ！ あああ！ ああああ！」

クールだるん

一花「くはっ！ は……は……は……は……」

一花「わ、わたしの……おちんちんが……あ……は……」

先生！ エピローグです！

鳥のさえずり音

キス

一花「んー　ちゅ！」

一花「ちうちうちゅ！　せーんせ。えへ」

一花「ん、もう嘘つきー　ちうちうちゅ」

一花「おちんちん治ってないじゃないですかあ、ちゅ」

一花「でーもー　気持ちよかったなー　あれ」

一花「れええええちうじうちゅ」

一花「ん？　大丈夫ですよー　ちゃーんと友達の家泊まるってメルしましたー」

一花「えへへ」

一花「んーちゅ」

一花「べっどでー　全裸でこうちゃってキスするのって、素敵ですねー」

一花「んー　朝日が病院の窓から全身に降りかかってきてとっても気持ちいですー」

一花「えへへ」

一花「んちゅ！　ちうちう　れええちう」

一花「せーんせ？　当分治さなくていいですからね？」

耳元で

一花「だーいすき　ちゅ」

一花「えへへー」